

トピックス

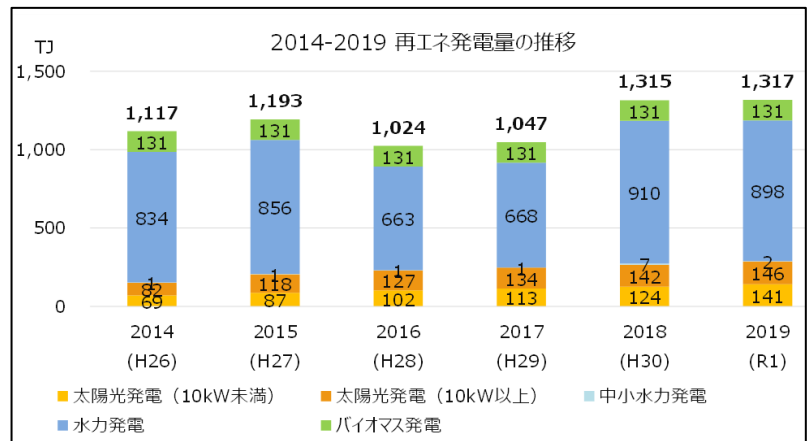
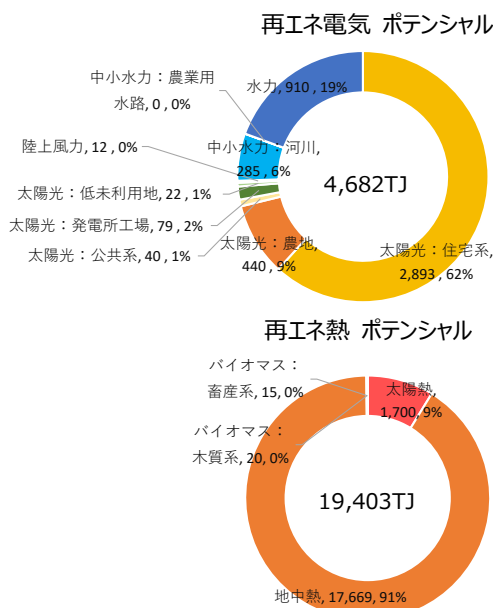
○ 脱炭素社会に向けた相模原市再エネポテンシャル調査を実施

相模原市の地域特性や再エネ導入ポテンシャル等に関する調査・分析を行い、2050年の脱炭素社会実現に向けた再エネ導入目標や戦略策定のための調査を実施しました。

再生可能エネルギーのポテンシャルと導入状況

市内の再エネ電気のポテンシャルは4,682TJ（平均的な世帯当たりの消費量で、約33万世帯分に相当）で、住宅系太陽光発電が62%を占めていることが分かりました。また、再エネ熱のポテンシャルは19,403TJで、地中熱、太陽熱、バイオマスのポテンシャルがありました。

再エネ導入状況については、2019年の再エネ発電量は1,317TJで、そのうち水力発電量が898TJと最も多くを占めています。その他に、太陽光発電やバイオマス発電、中小水量発電が導入されています。



詳細は、「[再エネ導入目標策定に係る調査報告書](#)」をご覧ください。

○ 相模原市の地球温暖化対策を『一目で、分かりやすく』

多様な地球温暖化対策の取組を「見える化」し、効果的に周知するとともに、それらの取組の全てが脱炭素に寄与するものとの気付きを与え、行動変容を促すことを目的として、キャッチフレーズとロゴマークを作成しました。

キャッチフレーズ

『未来へ Switch! ゼロカーボンさがみはら』

私たちの未来のために、社会の仕組みや価値観、ライフスタイルの転換によって、2050年『ゼロカーボン=脱炭素社会』を実現しようという決意を表したものです。



ロゴマーク

『0 (ゼロ)』と『C (carbon)』を組み合わせ、矢印と色のグラデーションで『転換(Switch)』と『中山間地域の自然と都市の資源の循環』を表現しています。